

大洗研究所(南地区)高速実験炉原子炉施設(「常陽」)
 審査会合コメントリスト(基礎地盤の安定性評価に関するもの)

日付	会合	回数	No.	資料名	コメント	適用 条文	回答
2020/11/6	審査 会合	第382回	1	基礎地 盤の安定 性評価	地下水位について、夏海湖の水面高さT.P.29mであるのに対し、設定地下水位はT.P.6.7mであり、夏海湖との関係性、他の地下水位観測データを含め、地下水位の設定の妥当性を説明すること。	3条	3/5ヒアリング 「耐震重要施設の基礎地盤及び 周辺斜面の安定性評価について」 にてご説明
"	"	"	2	"	地盤改良について、他の工法と比較して、抑止杭を選定した理由を説明すること。	3条	今回ご説明
"	"	"	3	"	抑止杭の周辺地盤について、地盤と施設のどちらか、新規制基準適合上の取り扱いを説明すること。	3条	"
"	"	"	4	"	周辺地盤変状による影響について、埋戻土の液状化影響を説明すること。また、周辺地盤の変状による影響だけでなく、すべり安全率に対しては施設を横から押す起動力となることも考えられるため、抑止杭の構造、成立性にどのような影響を与えるか説明すること。	3条	"
"	"	"	5	"	解析用地盤物性値について、HTTRとの相違点を整理し、使用した物性値が「常陽」とHTTRで本質的に変わらないことを定量的に示すこと。	3条	次回以降ご説明
"	"	"	6	"	すべり安全率の評価結果について、最小すべり安全率発生時刻が異なるため、各発生時刻の結果を比較し、説明すること。	3条	"
"	"	"	7	"	各断面について、建物基礎底面のみでのすべり安全率の評価結果を提示すること。	3条	"
"	"	"	8-1	"	最小すべり安全率を示す時刻の抑止杭の応力分布を示し、応力が適切に算定されているか説明すること。	3条	今回ご説明
"	"	"	8-2	"	抑止杭の応力は時々刻々深度方向に変わることから、抑止杭にとって安全側かの観点で評価方法の妥当性を説明すること。	3条	"
"	"	"	9-1	"	抑止杭による地盤改良前後に地盤に生じるせん断応力の変化を示し、現在の設計・評価に相互作用が影響しないか説明すること。	4条	"
"	"	"	9-2	"	抑止杭と主冷却機建物が非常に近接しているため、建家と杭の相互作用(建家が地盤を介して杭にもたれる現象や杭反力が建家に過剰な荷重を与えていないか)を説明すること。	4条	"
"	"	"	9-3	"	抑止杭設置による原子炉建物、主冷却機建物の耐震評価(建物・機器)への影響について説明すること。	4条	"

大洗研究所 (南地区) 高速実験炉原子炉施設 (「常陽」)
 審査会合コメントリスト (基礎地盤の安定性評価に関するもの)

日付	会合	回数	No.	資料名	コメント	適用 条文	回答
〃	〃	〃	10	〃	抑止杭の対策効果を確認するため、抑止杭の設計仕様、施工方法及び施工管理項目について説明をすること。	3条	〃
〃	〃	〃	11	〃	抑止杭のモデル化について、根入れ深さが妥当であること等、設計方針を踏まえ説明すること。	3条	〃
2021/3/5	審査 会合	第396回	12	基礎地 盤の安定 性評価	地下水位は東西方向に高低差がある。解析用地下水位 (T.P.+6.7m) の設定については、後段規制への影響も含め、その妥当性について説明すること。	3条	次回以降ご説明
			13	〃	地下水位より上部に分布する宙水について、解析上の位置づけを明確にすること。	3条	〃
〃	〃	〃	14	〃	用語 (洪積層) について、地質学の用語を踏まえた記載に適正化すること。	3条	〃